

## 技術研究所の組織の一部変更について

1964年4月に、(財)自転車産業振興協会 自転車技術研究所が発足して以来、31年間が経過した。当時は内外自転車の品質性能調査や金型加工技術等の生産技術に関する研究を推進してきた。その間には研究内容もハード的なものからコンピュータを利用した強度解析や情報提供システムの研究等に移行してきている。組織においても社会状況や事業内容に応じて数度の変更を行って今日に至っている。また、1994年3月には、専用組立機等の開発を主に手がけてきた東京支所の閉鎖が行われたところである。このような社会状況の変化や職員の高年齢化、

職員数の減少等の現状を踏まえた技術研究所の役割を再検討する時期にきている。

そこで、この度、4月1日より、新たな方向性を探り、技術研究所の活性化を図るべく、下記のように組織の一部変更を行い、併せて人事の若返りを図ったものである。

今後共、技術研究所として十分な成果を出せるよう所員一丸となって頑張る所存であり、旧来にも増してご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

### 組 織 と 業 務

